

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度宮古市自然環境保全専門委員会議を次のとおり開催しました。

令和6年9月9日

宮古市自然環境保全専門委員会議

- 1 開催日時
令和6年8月30日（金） 午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所
市民交流センター1階 会議室3
- 3 議題
 - (1) 自然環境現地調査結果報告について
 - (2) 動植物等の状況について
 - (3) 令和7年度現地調査候補地について
 - (4) その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
エネルギー・環境部環境課環境係 電話0193-68-9078

令和6年度宮古市自然環境保全専門委員会議

1 出席者（5名）

三浦 秀明、佐々木 剛、関川 實、寶 由夫、高辻 陽介

2 欠席者

なし

3 事務局出席者（3名）

エネルギー・環境部環境課長 松橋 慎太郎

エネルギー・環境部環境課環境係長 金澤 美智子、同係主事 鈴木 涼介

4 傍聴者

なし

5 議事等

【協議】

(1) 自然環境現地調査結果報告について

今年度新里地区で実施した自然環境現地調査結果報告について事務局から説明した。その後、各委員より調査報告書概要及び補足事項について説明があり、各委員の報告について質疑を行った。

(2) 動植物等の状況について

事務局より市で把握している動植物等の状況について報告した。その後、各委員より市内の動植物の状況について報告があった。

(3) 令和7年度現地調査候補地について

令和7年度現地調査の候補場所・実施時期について委員から意見聴取のうえ、2か所を決定した。

【その他】

今年度策定する宮古市環境基本計画について、素案を後日委員に送付し、意見を求める旨を説明した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「自然環境現地調査結果報告について」】 (委員) 繁殖期のため、今回はあまり鳥類を確認できなかったが、以前源兵衛小屋に宿泊した時よりもアカハラ等の高原生の鳥が減っている。温暖化により生息圏が狭まっているものと考えている。 (委員) ハンノキが枯れているのを感じる。 (委員) ハンノキハムシによるものと思われる。源兵衛平において、今年は大量に発生している。 (委員) 今回採取した鱗翅目で岩手県のレッドデータブックに掲載されているものはあるか。 (委員) フジミドリシジミを捕獲できた。岩手県レッドデータブックDランクである。捕獲後、卵を産ませた。来年には100羽程度になると思われる。 【議題(2)「動植物等の状況について」】 (委員) 保護件数が減ることはいいことだが、オオミズナギドリ自体は減っていないと感じている。振興局にも保護件数を問い合わせたが、昨年度は1件のみと聞いている。多い時は100羽くらい飛んでいるところを確認できた。	

(委員) 二ホンジカの捕獲データについて、地区別のデータはあるか。 (委員) イノシシの捕獲数は何頭か。また、捕獲がある地区はどのあたりか。 <委員提供資料の説明> (委員) 5年に一度岩手県で行っている河川調査の結果の資料であり、自分はアドバイザーとして参加している。この中の「イチモンジタナゴ」について、宮古市長町のひょうたん池に生息しており、繁殖力が旺盛なため、元からいた「タナゴ」がいなくなるのではないかと懸念していた。平成21年時点では両方生息が確認できたが、平成26年時点でタナゴが確認できず、令和1年時点ではイチモンジタナゴも確認できなくなってしまった。 また、「カワヤツメ」について、通常のカワヤツメは50～60cm程度のサイズだが、宮古市のものは20～30cm程度のサイズであり、河川残留型という、大変貴重なものである。今年、岩手県立博物館に納められる。 <委員より外来植物について説明> (委員) 閉伊川の河川敷で外来種のアレチウリが大量に繁殖している。在来種のクズも生えており、こちらも繁殖力が強いがその上から覆いかぶさるようにアレチウリが繁殖している。そのほか、イタチハギ、ニワウルシ、ヨウシュヤマゴボウなどが爆発的に増えている。	(事務局) 地区別のデータが手元にないので、後ほど提供する。 (事務局) 令和5年度の捕獲数は34頭である。捕獲のあった地区については、詳しいデータが手元にないため、後ほどお示しする。
--	--

【議題(3)「令和7年度現地調査候補地について」】

(委員)

この調査は宮古市内の各地域を順繰りに行っている。順序的に次は旧宮古地区である。

(委員)

黒森神社付近はどうか。サワガニが生息していると聞いている。

(委員)

スギの大木などもあり、自然環境は豊かである。

(委員)

黒森神社付近で昆虫は何かいるか。

(委員)

良い採取場所であったが、環境が変わってしまった。

他にも、蜂ヶ沢も良い場所であるが、林道が少し荒れているため、途中までしか行けないと思われる。1か所目は黒森神社付近と蜂ヶ沢でいいのではないかと考える。

(事務局)

時期的にはいつ頃がよいのか。

(委員)

花の咲く時期を考慮すると、5月30日から6月10日くらいが望ましい。花を考慮しないのであればその期間以外でもよい。

(事務局)

もう1か所は重茂地区でよいか。

(委員) 重茂地区でオモエザサの調査を考えていたが、どのあたりに植生するか明確なデータがないため、重茂地区の調査は今一つと考える。 (委員) 長沢川の上流を提案する。理想が一番上の東金沢牧野まで行くことだが、乗用車でどこまで行けるか下見が必要である。 (委員) 希少植物はあるか。 (委員) シラネアオイの産地であったが、絶滅した可能性がある。しかし、良い環境であるため、候補地として適当な場所であると考ええる。 (事務局) 時期的にはいつ頃がよいか。 (委員) イワウチワなどの花もあり、4月下旬が良いのではないかと考える。今年5月に行ったところほとんど花は散っていた。 (事務局) 時期は改めて調整することとし、1か所目は黒森神社付近から蜂ヶ沢まで、2か所目は長沢川上流から南川目ということとしてよろしいか。	(委員一同) 異議なし。
--	----------------------------

【議題(4)「その他」】

(委員)

本委員会の話を聞いていて、宮古市の環境は非常に豊かなものであると感じる。宮古市には多様な生物がいるという貴重な情報を多くの人たちに伝えていく仕組みが必要だと考える。今後その辺りを強化していくことを検討していただきたい。

【4 その他】

(事務局)

今年度、宮古市環境基本計画を改定する年度となっており、素案が出来た段階で委員の皆さまに送付し、内容に関する意見など頂戴したいと考えている。

(事務局)

環境基本計画について、宮古市全体の環境に関する、ミクロではなくマクロ視点の大きな計画となっている。素案は現在作成段階であり、委員の皆さまには自然に関することについて、表現の仕方など様々な観点から意見を頂戴したい。

(委員)

東京都港区の環境審議会委員を務めており、「関係価値」の概念について環境基本計画に入れてもらった。港区ではほとんど生物がいないが、住民は自然と繋がりたいという思いがあり、これが関係価値というものである。宮古市においても関係価値の考え方を計画に加えることをご一考いただきたい。